

佐々木 一 隆（宇都宮大学国際学部長、国際学部教授）

みなさんおはようございます。ご紹介に与りました国際学部学部長の佐々木一隆と申します。どうぞよろしくお願いいたします。学外や学内から多くの方にご参加いただきまして誠にありがとうございます。心より御礼を申し上げます。今日は一部にご講演があるとのことで五木田様がお越しになっておられます。楽しみにしております。二部としては留学生によるプレゼンテーションとコメントということでこちらも楽しみに聞きたいと思えます。

本事業は、「日光プロジェクト」と呼ばれるもので年々と続いております。多文化公共圏センターと日光市国際交流協会が共催でやってきているわけですが、昨年は足尾に焦点を当て、足尾の観光地作りとそれから、という内容でした。今回は日光・奥日光に焦点を当てるということで、非常に楽しみにしております。昨日の下野新聞の一面に関連の記事がありましたが、1999年、ちょうど20年前に日光の二社一寺が世界遺産に登録されました。もともと日光は戦前から外交官もいたことなど国際交流都市の色彩が濃いわけですが、その中で20年前に世界遺産に登録されたということになります。残念なのは自然を含んではいないということですね。しかし私の気持ちとしては二社一寺を含む周りの自然を含めて登録されたと意識しております。それ（自然）は非常に重要な部分になっていると思えます。8年前の震災で外国の方（の訪問）が滞ったことなどありますが今また順調に進んでいるということを知っております。下野新聞によると日光駅のJRの利用者数は外国人観光客が8割、東武日光駅の方も5割ということからも国際都市であることが十分に実感できるように思えます。2時間あまりの時間ではありますが、どうぞ今回のシンポジウムを楽しんでいただければと思います。よろしくお願いいたします。